

## 2

増田さんは、ケンとアンが宝物たからものを探す物語さがを書こうとして、構成の「中」の部分にくふうしました。次の【物語の構成】をよく読んで、増田さんのくふうの説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

## 【物語の構成】

はじめ	中	終わり
<p>ケンとアンは、村に伝わる宝物の話をおじいさんから聞き、宝探しに出かける。</p>	<p>① 一日かけて、草原で第一の宝箱を見つける。箱の中には、宝物ではなくカギと紙きれが入っている。</p> <p>② 二日かかりで、山で第二の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。</p> <p>③ 三日かかりで、川で第三の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。</p> <p>④ 四日かかりで、海で第四の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っており、今まで見つけた紙きれを全て合わせると、宝物の場所を示す地図になることに気づく。</p>	<p>ケンとアンは、村に伝わる宝物を見つける。しかし、二人にとっては「友情」が一番の宝物となった。</p>

- 1 現在と過去を行き来して書き、読者に出来事できごとのつながりが少しずつ分かるようにしている。
- 2 出来事に変化を加えながらくり返して書き、読者が展開てんかいに期待をもって読めるようにしている。
- 3 物語の結末の場面から書き、読者が展開に興味をもって読めるようにしている。
- 4 時間の流れとは反対の順序で書き、読者に出来事のきっかけが分かるようにしている。